



# つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを!



感染拡大予防に配慮しながら継続した ちばし地域づくり大学校

## NPOクラブ 第22回 定期総会のご案内

2021年度事業報告、収支報告と2022年度事業計画、予算案について討議決定します。賛同会員の方も、ぜひご出席ください。

【日時】6/4(土) 14:00～16:00

【会場】多世代交流拠点おおなみなみ  
(千葉県花見川区検見川町 3-159-2)



※オンラインでも配信します。参加希望の方は事前にご連絡ください。ZoomURLをお知らせします。

### ■NPOクラブの活動を支える会員を募集しています

NPOクラブは、千葉県内全域を対象に市民活動につながる活動やNPOの支援などを通して、地域がもっと暮らしやすくなるよう地域力を高める活動を進めています。

..... 会費や寄付で支える活動 .....

- \* 行政の枠組みにとらわれない民間のネットワーク組織「災害支援ネットワークちば(CVOAD)」の事務局団体として千葉県域の平時からのネットワークづくりを進めることができます。
- \* NPO、市民、自治体などから寄せられる市民活動の困りごとや相談に無償で対応でき、必要な支援につなぐことができます。
- \* 社会人ボランティアのスキルや経験を活かし、千葉県内NPOの基盤強化に貢献する取り組み「プロボノ事業」で伴走支援ができます。
- \* 多世代交流拠点「おおなみなみ」(千葉県花見川区検見川地区)の運営を継続し、地域の活力維持やつながりづくりに貢献することができます。



..... NPOクラブの会員として千葉県の地域づくりを応援しませんか.....

年会費 1口 団体会員 10,000円、個人会員 5,000円、寄付 1口 3,000円

(2022年度の年会費は定期総会後に変わる場合があります)

※NPOクラブは認定NPO法人です。賛同会費・寄付は税制優遇の対象となります。

## SAVE JAPAN プロジェクト 「生物多様性ってなあに？」

### 生きもの田んぼの田植え 参加者募集

湧き水が流れ、ホタル舞う「谷津田の田んぼ」での米作り。お米を作ることは、生きものを守ることもつながります。

【日時】5/7(土) 9:45～15:00

【場所】千葉県緑区下大和田谷津田 当日は駐車場あり  
(千葉駅からバスで45分「中野操車場」下車 徒歩5分)

【参加費】小学生以上 一人 300円 ※田んぼ用長靴必須

【申込・問い合わせ】メールで下記まで

ちば環境情報センター 小西さん yatsudasukisuki@gmail.com

【主催】NPO法人ちば環境情報センター

【協力】NPOクラブ

※本プログラムは損保ジャパン株式会社からの助成金を基に開催しています。



## コロナ禍での暮らしの変化とNPOの活動

「新型コロナ」収束の見通しが立たず、私たちの暮らしにも大きな影響が出ています。大人も子どもも、感染防止のための外出自粛や密を避けるなどの行動制限により、緊張やストレスが積み重なり、体調不良や心身の不調などを訴える人が増えています。また、働き方も大きく変わっています。失業・休職者の増加や在宅ワークの増加により、孤立、生活困窮者の拡大、DV、子どもの虐待、若者の貧困等とこれまでもあった潜在的な課題が目を追うごとに浮かび上がっています。

課題を抱える市民へのNPOによる支援活動(フードバンク、子ども食堂、就労、居住支援、シェルター等)も広がってきました。メディアやSNS等での情報発信により、関心を寄せる市民、活動に協力する企業・事業者も増えています。しかし一方で、そうした活動についての情報を得られず、支援を受けないまま困窮状態にいる人も少なくありません。

今号では、困窮する方々からの相談業務に関わるNPOが相談者にどのように対応し、どのような地域社会を展望しているのかを取材しました。2団体の活動を知り、周囲の人たちにその活動を伝えていくことを通して、一人で抱え込まずに「相談してみよう」という人が増えればと願っています。

コロナ禍においても、感染拡大予防に配慮しながら、活動を継続することが大切だと考えます。NPOクラブでは、対面での事業(一部オンライン併用)の一つとして「ちばし地域づくり大学校」(千葉県事業)を企画運営しました。感染防止対策を徹底しすべてのプログラムを終了、68名の受講生が次の一歩を踏み出しています。

「新たなニーズに対応したい」「活動を継続したい」「メンバーを増やしたい」といった団体からの相談ごとにも対応していきたいと思っています。お気軽にご相談ください。

＜編集・発行＞ 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: https://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npo-club1

Facebook「Facebook NPOクラブ」で検索 Twitter「twitter NPOクラブ」で検索



会員・寄付  
募集中!

・運営会員 23名 賛同会員 97名 発行 800部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。

# 困難を抱える人たちを支えるNPOに聞く

コロナ禍も長期化し、必要とされる支援や活動内容も変わってきています。女性や働きづらさを感じる人など社会的に弱い立場に置かれがちな人たちを支えるNPOに、活動状況やコロナ禍での変化などについてお聞きしました。

## ■NPO法人ウィメンズカウンセリングちば

〈話し手 代表 中川みさ子さん〉

### 女性をめぐるすべての問題が私たちのテーマです

#### 「女性による女性のための相談」を各地の相談室で継続

女性が一人の人間として自分らしく生きていける社会を目指し、「女性による女性のための相談」を20年間行ってきました。私たちの事務所での相談だけでなく、毎年決まった相談員が受託した千葉県や県内外の複数の市の相談室で、相談員一人当たり月2回～4回、1日5件程度、対面と電話相談に当たっています。相談者は行政体の広報やインターネットを見て、また時には他の部署から紹介されておいでになることもあります。

#### 新型コロナで夫婦間の問題が増加

相談内容のほとんどが女性をめぐる対人関係です。夫婦、親子、ママ友など近所や職場などでの悩み、DVやパワハラ、虐待に関する問題です。このコロナ禍で、家庭内での問題、特に夫婦間の問題の相談が増えたと感じています。夫の在宅勤務が増え、また収入の減少などをきっかけに、内在していた夫婦間の問題も表面化しています。

相談の間ではまず守秘義務の厳守を依頼者に伝え、悩みを一人で抱え、やっと相談室にたどり着いた女性が心を開けるよう、話を傾聴します。対応の基本は依頼者の状況を理解し、その中で現実に行えることを励まし応援する。解決に向けて依頼者の気持ちの整理を助け、必要に応じて行政などの支援の場も案内します。また、経済的にも弱い立場にある女性が多いので、自立して生きることを応援し続け、女性が意識を変え、力をつけるよう励ますことはコロナ禍でも変わりません。

#### 女性が安心して相談できる場所や機会を継続するために

設立前から女性による女性のためのカウンセリング（フェミニストカウンセリング）の手法を継続的に学び、現在も月1回専門のスーパーバイザーによる第三者的な視点からの助言・指導を受けています。また「DV防止サポートネットワークちば」など民間のネットワークの勉強会で相談の助けとなる生きた情報も得て、専門性を磨き、様々な女性の悩みを受け止められる相談ができるように努めています。



団体のカウンセリングルームにて



NPO 法人ウィメンズカウンセリングちば  
【団体情報】  
TEL : 043-224-7909  
Mail : npo-witch@nifty.com

## ■NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば

〈話し手 副理事長 平田智子さん〉

### —「生きる はたらく 私らしく」をミッションに—

#### 相談者の状況に沿った支援を実現

ユニバーサル就労とは、障がいがあったり生活困窮状態にあるなど、さまざまな理由で働きたいのに働きづらすべての人が働けるような仕組みをつくと同時に、誰にとっても働きやすく、働きがいのある職場環境を目指していく取り組みです。より多くの人々が「わたしは会社ではたらいっています」と実感できるよう、その人なりの働き方で社会参加できるユニバーサルな地域社会づくりをめざしています。

ユニバーサル就労からスタートした活動も7年目を迎えました。当初4名だった職員も27名に増え、多くの事業を実施するようになりました。挿入した「支援活動の見取り図」に記載のように、行政の委託事業も複数実施しています。ユニバーサル就労を希望される多くの方は、就労以外にも生活や家庭にも課題を抱えており、就労だけの相談のみでは解決につなげにくく、相談窓口を複数持つことで相談者の状況に沿った支援が可能になります。

#### 「新型コロナ」による影響

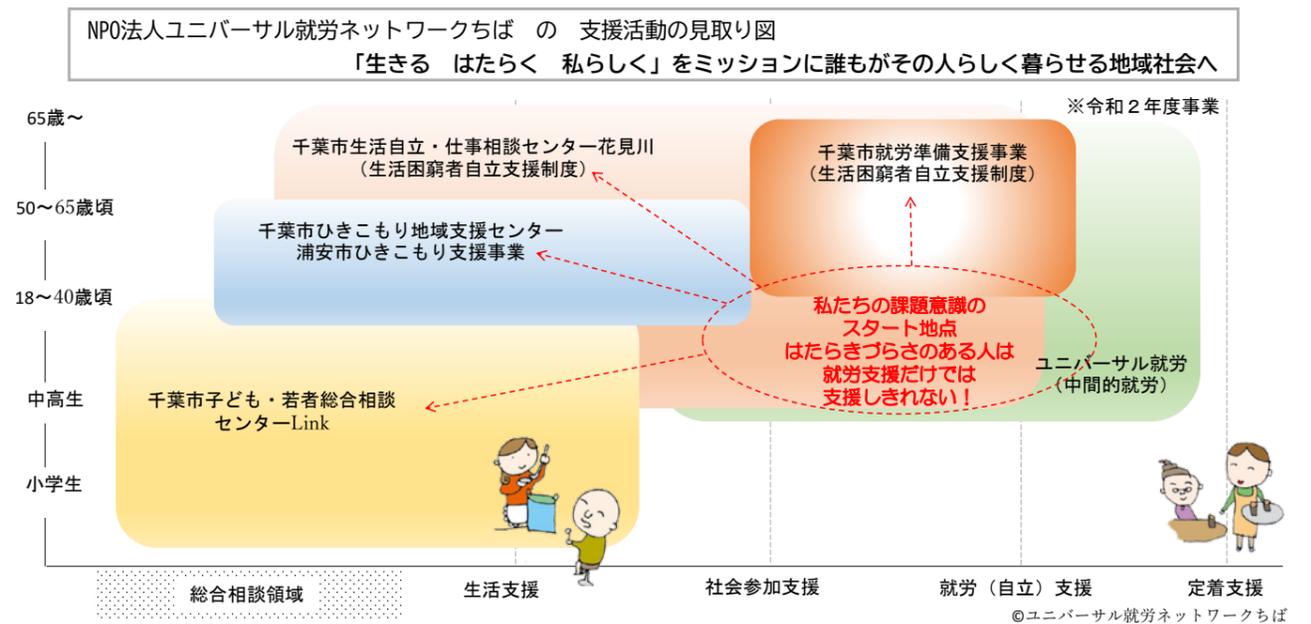
相談者は小学生から70代まで多様ですが、男性からの相談割合が高くなっています。ひきこもりや子ども若者の相談では、最初は本人ではなく家族から電話で相談

を受けることが多く、その後、本人も含めた面談、支援プログラムの検討、プログラムへの参加といった流れで対応します。自立相談や、就労支援の相談は本人からの直接的な相談が多い傾向です。

「コロナ」の影響で、少人数やオンラインで実施するプログラムが増えてきました。相談件数は、「コロナ」以前に比較して増えてはいますが、深刻な相談内容が多くなっています。父親が在宅ワークや失業で家にいる時間が増え、虐待につながった事例もあります。また、ひきこもりの理由を「コロナ」にしてしまうという事例もあります。自身も葛藤を抱え、自己肯定感がもてない日々を過ごす中、「コロナ」という理由でほっとできるという切ない心情が見えることもあります。

#### 「生きる はたらく 私らしく」をミッションに

「そだんの教科書」を作成し、スタッフ全員で研修を実施。当事者の皆さんの段階に沿った支援を考えています。制度の狭間で孤立している相談者には、福祉制度にとらわれすぎないような伴走型の支援を心がけています。これからも「生きる はたらく 私らしく」をミッションに誰もがその人らしく暮らせる地域社会を目指していきたいと思ひます。



NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば  
【団体情報】  
〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷2-5-1 タカソープラザ405  
TEL/FAX : 043-372-9790 Mail : info@uwnchiba.net